

PRESS RELEASE

2016年7月19日
株式会社インターネットイニシアティブ

IIJ、ネットワークとクラウドを融合させた新型 IoT プラットフォーム

「IIJ IoT サービス」を発表

-- デバイスからネットワーク、セキュリティ、クラウド環境までを一体化しフルマネージドで提供 --

株式会社インターネットイニシアティブ (IIJ、本社:東京都千代田区、代表取締役社長:勝 栄二郎、コード番号:3774 東証第一部)は、各種デバイスのセンサー情報の収集から、蓄積・可視化、制御・管理の自動化まで、IoT システムに必要なすべての機能を一体化し、クラウド上の“共通プラットフォーム”として提供する「IIJ IoT サービス」を、2016年11月より提供開始します。

IIJ は、数百億とも言われる膨大な数のデバイスがネットワークに繋がり、数ミリ秒以内のリアルタイム処理が求められる将来の IoT 環境を見据え、次世代のクラウドコンピューティング・ネットワークと IoT システムの自動制御の実現を目指しています。その第一弾として、本サービスでは IoT システムに必要なデバイス管理やネットワーク、セキュリティ、クラウドの各要素と、それらを統合的に管理する機能を提供します。これまで個別に機器やサービスを調達し組み合わせて構築していた IoT システムをひとつのサービスとして提供することで、お客様は低コストかつ短期間で導入でき、新たなビジネス創出へ注力できます。

本サービスの主な特徴は以下のとおりです。

個別構築が不要で、容易なシステム導入を実現

本サービスでは、モバイル接続、認証、クラウド、既存システムとの連携など、IoT に必要な機能を網羅し、統合的な管理機能を提供するため、お客様は、必要な機能をメニューから選ぶだけでIoTシステムを簡単に構築、利用することが可能になります。特に、デバイス、ネットワーク、クラウド間の接続や設定は自動化されるため、接続デバイスの増加に伴う作業負荷を軽減できます。お客様は、初期導入投資や運用負荷を抑えながら、データ活用による新たなビジネス開発に集中できます。

高セキュリティなネットワークサービス

国内トップクラスの導入実績を持つ MVNO 事業者としての強みを活かし、低価格かつ大規模利用にも対応できる閉域モバイルネットワークを提供します。また、モバイル環境のほか、企業 WAN 接続やクラウド環境への閉域接続に加え、IIJ が持つネットワーク運用ノウハウや先端ソフトウェア技術を駆使した高度なネットワークセキュリティ環境を実現します。

センサー機器の自動制御により運用負荷を軽減

各センサーから収集されるデータに対して、あらかじめ設定したルールに応じて機器の制御を自動実行する機能を提供します。例えば、設置されている場所の環境変化を感知し空調を自動調節したり、機器が停止した際の警報発信、自動再起動など、人の手を介さない自動制御が可能になります。

■ サービスメニュー

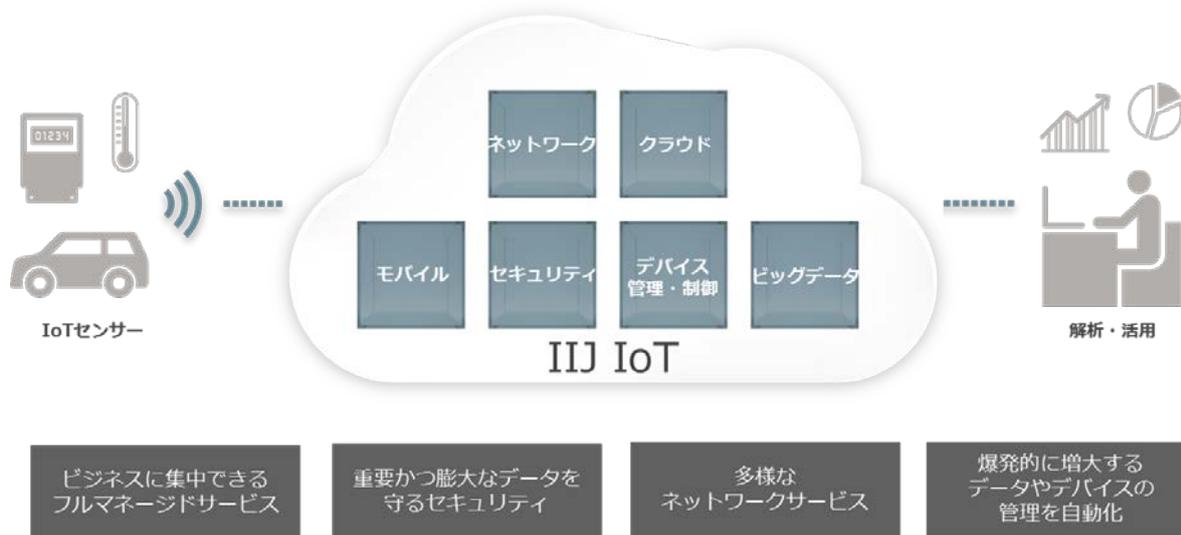
2016年11月提供予定

機能		概要
コネクティビティ	モバイル接続	低コスト・高品質・安全なモバイル接続・認証
プラットフォーム	データハブ	アプリケーションやクラウドへのデータ転送
	データストレージ	ストレージへの格納とデータアクセス画面・API
	データビジュアライザー	データ可視化、 ビッグデータ解析(2017年提供予定)
機器	デバイスゲートウェイ	センサー接続・無線接続用ゲートウェイ機器

2017年以降順次提供予定

機能		概要
コネクティビティ	プライベートモバイル接続	お客様専有型のモバイルネットワーク接続
	エンタープライズ接続	お客様環境との WAN・VPN 閉域接続
	クラウドエクステンジ	Microsoft Azure をはじめとした外部クラウド閉域接続
プラットフォーム	デバイスマネジメント	デバイス GW 機器の監視・管理、リモート設定更新
	デバイスコントロール	デバイス制御、状態通知、自動管理
機器	デバイスエージェント	リモートメンテナンス、双方向通信プログラム

■ サービス概念図



報道関係お問い合わせ先

株式会社インターネットイニシアティブ 広報部 増田、荒井

TEL: 03-5205-6310 FAX: 03-5205-6377

E-mail: press@iij.ad.jp URL: <http://www.iij.ad.jp/>